

2019年度事業計画書

2019年4月1日～2020年3月31日

特定非営利活動法人 こども∞感ばにー

1 事業実施の方針

昨年度は石巻市にプレーパークの必要性が認知され、今年度の総合計画でプレーパーク事業が予算化した。これによって市内のプレーパーク(子どもの居場所)づくりに大きな変化が起きようとしている。また、年度の終わりには宮城県内の不登校支援団体のネットワークや地域連携推進事業として渡波中学校区のネットワークを設立するなど、これまでの単独の活動から連携した活動に移行した形で新年度を迎えた。

今年度は、他団体や地域と連携し「石巻市」と「宮城県」を視野に置いた、子どもの居場所事業を展開していく。

それと同時に、スタッフ全員で現事業の基盤を強化に努め、子どもや保護者、地域住民が当事者となり共に活動していく体制づくりを行う。

また、2020年度に復興予算終息に向け、地域住民や支援者ととともにこの課題をクリアしていく体制を構築する。

《重点目標》

- 黄金浜ちびっこあそび場は常設、鹿妻プレーパークは移動式のあそび場のモデル化を図り、活動の継続に向けた行政への働きかけを行う。
特に黄金浜ちびっこあそび場は継続を希望する声が利用者から聞こえていることから、地域と連携しその必要性を報告書にまとめ行政に伝える。
- 石巻市内に子どもの居場所を増やすための取り組み
石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会は、10年後の「1中学校地区に1か所の居場所設置」目標に向けて、代表の再選任や事務局の新体制、賛助会員制度などの体制の見直しを図る。
本年は新規プレーパーク開設のサポートや地域住民の意識調査などから、住民の声をまとめ行政に届け連携を深める。
- 不登校児童生徒の居場所に関する意識改革
200名を超える石巻市の不登校児童生徒の居場所事業に関する取り組みを、行政と協働で構築する。
そのためにも、多様な学びを共に考える・みやぎネットワーク（県内6団体で構成）で不登校児童生徒や保護者の意識調査や先進事例の視察や研修などを行い、行政に当事者の声や事例を届けることで連携を深める。

≪事業内容≫

①すべての子どものための居場所（あそび場）に関する事業

◆プレーパーク事業

○黄金浜ちびっこあそび場

渡波中学校区(2小学校、1中学校)の子どもの居場所として、プレイワーカーのスキル向上を図りながら地域と協働で管理を行う。

あそび場継続のために、利用者の声をまとめ行政に届けるとともに地域住民との連携体制を構築する。

【開催予定回数】 145回/年

【目標人数】 子ども延べ3,000人、大人1,500人 合計4,500人

【取り組み内容】

a.特に力を入れる活動

住民プレイワーカーの育成事業/地域住民と協働で管理していく体制づくり/利用者の意識調査

b.環境整備

東屋、アースオープンの改修または建て直し/自転車発電機小屋づくり//看板、旗、井戸の修理

c.地域連携

わらすこ会の休止とそれに代わる体制づくり/黄金浜座談会の開催

○鹿妻プレーパーク“ひがこー”

子どもの保護者とともに遊びの環境をつくり、地域(自治会)と連携しながら開催の継続を視野にいれた運営体制を構築する。

【開催予定回数】 50回/年

【目標人数】 子ども延べ1,500人、大人375人 合計1,875人

【取り組み内容】

a.イベント 夏季、冬季に一日プレーパーク実施(7月24日、12月25日)

b.環境整備 鹿妻東公園内に物置設置

c.地域連携 自治会との連携体制を強化

○新規プレーパーク開設サポート

プレーパーク開設を希望する地域住民のサポートを行う。今年度内に地域主体で開催できるよう、地域調整、安全管理、プレイワークなどの知識を伝承する。

【開催地と開催予定回数】 石巻市沢田 9回/年(準備会議2回)

【目標人数】 延180人

【事業での取り組み】

a.事前講習と開催時のスキル講習 5回程度

b.あそび場の必要性についての意識調査

○石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会

石巻市内の新規プレーパーク開設サポートを行うと同時に、子どものあそび場の必要性を行政に伝え市内に子どもの居場所を増やすための取り組みを行う。

【取り組み内容】

- a.組織体制づくり 役員会議 月1回程度
- b.地域住民の意識調査（焚き火の会4回、既存の子どもの居場所3か所）、報告書作成
- c.住民プレイワーカー育成（プレーパーク視察、プレイワーク講座）
- d.行政との意見交換会・地域課題提示 2回
- e.新規プレーパーク開設・運営サポート 1か所

◆フリースクール事業

○フリースクール“ぼはっく”

本会の活動地域である渡波中学校の不登校生徒(約 10 人)すべてが、安心して過ごせる居場所があるための働きかけを行う。

【開催予定日数】 95回

【目標登録者数と人数】 登録者数：15人 利用人数：延570人

【取り組み内容】

- a.石巻での連携体制づくり
市教委や各教育機関との関係構築/専門機関(児童相談所、虐待防止センター、SSW)との連携
- b.環境整備
利用者案内の作成/子ども会議/居室の整備
- c.体制づくり
ボランティア、インターン受け入れ強化/スタッフスキル向上(研修、視察)
- d.イベント ぼはっく合宿/お泊り会/月一回のイベント企画

○多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク

「教育機会確保法の理念を基に、宮城県内の民間の団体・教育委員会・行政などのネットワークを構築し、子どもが選択できる多様な居場所が保障される地域社会をつくる」を目的に、不登校支援団体が連携し、行政と協働を図るための体制づくりをおこなう。

【取り組み内容】

- a.組織体制づくり 役員会議 月1回程度
- b.研修会(教育機会確保法、先進事例検討会、フリースクール運営方法など)
- c.調査活動(当事者の意識アンケート)
- d.交流イベント（県内フリースクールや居場所に在籍する子ども同士の交流）
- e.情報の共有と発信（ホームページ、ブログ、フェイスブック等）
- f.行政との懇談会

②子育てサポート事業

○未就学児あそび場“のびちび”

環境整備や情報発信、スタッフのスキル向上を行い、子育て中の親子が利用しやすい地域の居場所づくりを行う。

【開催予定回数】 145回/年

【目標人数】 子ども延べ1,730人 大人延べ：1,370人 合計3,100人 平均10組/回

【取り組み内容】

a. イベント 24回/年（子育てワークショップ、料理教室、ヨガ教室など）

b. 環境整備

図書館の整備/アースオープンの再稼働/地域住民が来所しやすい環境づくり

c. 情報発信強化

d. スタッフ研修

子育て支援施設の見学（らいつ、ベビースマイル）/遊びの作用の学習、伝達スキルの習得

○子育て相談

本会の事業すべてにおいて子育て相談を受け入れ、子育て(不登校も含む)で悩む保護者の心のケアを行う。

【取り組み内容】

a. プレーパークでの「ながら相談」

b. 電話（専用電話あり）・面談での相談

c. 記録作成

③自然体験プログラム事業

○Ecoキャンプ“自然とともに”

森や海で電気・ガス・水道のないサバイバル生活を通して「生きる力」を育む

【開催回数】 2回/年（夏季 子ども対象2泊3日、未就学児親子対象1泊2日）

【開催地】 宮城県気仙沼市

④社会体験プログラムに関する事業

活動予定なし

⑤前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業

◆啓発事業（講座/研修）

楽々コミュニケーション（前CSP）講座(教員、子育て支援団体向け) /外遊びの大切さ講座 /活動報告会（関東、関西）4回/石巻市内事例検討会（毎月1回・再開）/プレイワーク講座(2日間)

◆情報発信事業

会報誌「だん子むし」500部発行 /ポスター制作、掲示 100枚 /こどばに一映像「みんな～おいで～(地域向け)」「こどもみらいず(行政・寄付者向け)」拡散 /ホームページ（6月リニューアル）/SNS（Facebook、Instagram、ツイッター、ブログ）/告知チラシ「鹿妻新聞」月1回/黄金浜月間スケジュール月1回/子育てワークショップ

◆人材育成事業

○事業スキル向上のためのスタッフ研修

子育て関係/プレイワーク(関東地区5日間1名派遣、市内2日間)/カウンセリング（年6回1名）/草刈り講習（1回）他

○組織運営のためのスタッフ研修

リーダーシップ研修 /認定NPO法人化 /資金調達関係 他

○外部人材育成

ボランティア・インターン受け入れ /視察受け入れ 他

⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業

○主たる活動地域内

渡波小学校評議委員会年3回 /渡中学区WW I (地域連携事業)年15回程度 /渡波中学校区協働教育協議委員会年1回 /黄金浜げんき会年10回程度

○石巻市内

NPO法人こどもにやさしいまちづくり理事年5回程度 /らいつコンソーシアム協議委員年6回/NPO法人にじいろクレヨン理事年4回

○組織基盤強化

資金調達プロジェクト（寄付、賛助会員の呼びかけと管理）/ 認定NPO法人化準備

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施予所	従事者名	受益者	事業費(円)
①すべての子どものための居場所（あそび場）に関する事業	プレーパーク事業 ・黄金浜ちびっこあそび場 ・鹿妻プレーパークひがこー ・新規プレーパーク開設サポート ・石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会	金・土・日曜 水曜 6月より随時 月1回～2回	渡波 鹿妻 沢田 石巻市内	田中・千葉・佐藤 千葉・平井 田中・佐藤 田中	幼児 ～高校生 延5,070人 地域住民 延1,875人 (290回)	10,806,000
	フリースクール事業 ・フリースクールぼはっく ・多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク	火・木曜 15回/年	鹿妻 宮城県内	千葉・田中・佐藤 田中・千葉		
②子育てサポート事業	・未就学児あそび場「のびちび」 ・子育て相談	火・木・金曜 火・木～日	渡波 石巻市内	平井・田畑・田中 田中	乳幼児 ～大人 延3,100人 150件	4,939,000
③自然体験プログラム事業	・Ecoキャンプ“自然とともに” 学童以上対象 未就学児親子対象	8/20～8/23 8/24～8/25	気仙沼 気仙沼	田中・千葉 佐藤・平井	12名 5組	451,000
④社会体験プログラム事業	※活動予定なし	-	-	-	-	-
⑤前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業	啓発事業 ・楽々コミュニケーション講座 ・外遊びの大切さ講座 ・活動報告会 ・子どもの課題事例検討会 (石巻の子どものより良い成長を願う会) ・プレイワーク講座	年2回 年3回 年10回 年8回 年1回	石巻市内 及びその 他の地区	田中 田中 田中・榎谷 田中 田中	-	3,120,000
	情報発信事業 ・会報誌「だんごむし」 ・ポスター制作・掲示 ・こどばにー映像2本拡散 ・ホームページ ・ブログ ・Facebook ・Instagram ・ツイッター ・告知チラシ（3種）	年4回 100か所 随時 月1回更新 月4本 随時 随時 随時 月1回程度	-	全スタッフ	-	
	人材育成事業 ・事業スキル向上研修 ・組織運営のための研修 ・外部人材育成	随時 随時 随時	石巻市内及 びその他の 地区	全スタッフ -	-	
⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業	・主たる活動地域内での委員や事務局業務	随時	渡波・鹿妻	田中	-	538,000
	・石巻市内における委員や役員	随時	石巻市内	田中	-	
	・組織基盤強化のための取り組み	随時	市内その他	全スタッフ	-	

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

理事会の開催（年4回他必要に応じて開催）

(2) 運営体制

運営に関わるスタッフは以下の通り。

代表：田中雅子

常勤スタッフ：榎谷和子(事務局長)、塩田恵利子(未就学担当、相談員/2020年6月まで育休)、
千葉拓己(フリースクール、プレーパーク担当)
佐藤和幸(プレーパーク、フリースクール担当)

非常勤スタッフ：平井希美枝（未就学、広報担当）

アルバイト：阿部良子(事務)、田畑つばさ(未就学担当/大森の代替)

(3) 会員

【2019年度目標】

①正会員 18名(+3名)

②賛助会員 100名(+62名)

③子ども会員 0名

(4) ボランティア（県内の高校生・大学生を中心に受け入れ）：20名

(5) 地域社会や他団体との連携について

石巻市福祉部子育て支援課、石巻市都市計画課、宮城県東部児童相談所、虐待防止センター、
石巻市社会福祉協議会、石巻市立渡波小学校、石巻市鹿妻小学校、石巻市渡波中学校、
公益社団法人 3.11 みらいサポート、NPO 法人ベビースマイル石巻、NPO 法人 TEDIC、
NPO 法人にじいろクレヨン、NPO 法人こどもにやさしいまちづくり、一般社団法人プレーワーカーズ
など連携団体は多数

以上